

## 2020年度 埼玉県ハンドボール協会審判部報告

審判長 宮澤 則夫

## 審判員の質の向上と上級審判員の確保

コロナが猛威を振った今年度においては、各種別で県内の大会はもとより全国大会やブロック大会がのきなみ中止となり選手含めチームの方々が活躍の場を奪われる状況の中、審判員の皆様も吹く機会や昇級審査がなくなり審判技術の向上等に杞憂された一年だったと思われます。

審判の上級審査におきましては新年度に今年度の申請も含め実施をする予定ですので、ルールの確認や体力の確保に努めていただきたいと思います。(21年度の審判員の目標等)

今年度は先に述べたようにコロナ禍の影響で上級申請が滞ったのは仕方のないことですが、審判の更新を多くの方が見送った状況が見られました。ハンドボールの審判は他のスポーツと違い更新せずとも消滅することがない現状ですが、更新しなければ審判証もないので大会で吹くことが出来ず、大会運営や審判技術の向上の妨げにもなることは想像できます。いろいろなお考えがあるとは思われますが、毎年の課題で上げている上級審判員の確保(特定の審判員への負担)と各種別団体での審判員による大会運営に向けて、今後も上級申請及び審判更新にご協力をお願いいたします。

## 【今年度の登録状況】(2020年)

|        | 終身 | A級 | B級 | C級     | D級      | 合計      |
|--------|----|----|----|--------|---------|---------|
| 高体連    | 21 | 5  | 12 | 19(+3) | 49(+2)  | 106(+5) |
| 中学生委員会 | 5  | 0  | 9  | 14     | 21(+2)  | 49(+2)  |
| 小学生連盟  | 0  | 0  | 0  | 0      | 15(+1)  | 15(+1)  |
| その他    | 2  | 0  | 1  | 6      | 94      | 103     |
| 合計     | 28 | 5  | 22 | 39     | 179(+5) | 273(+8) |

\*その他は社会人・大学生・高校生

()内は昨年度比

## 1. 上級審査についての変更点

- ・C級：D級取得後15試合以上の吹笛が条件となり、筆記試験(県内で実施)が課せられます。
- ・B級：ブロック大会が実技試験の吹笛試合となります。(ブロック大会の記載必須)
- ・A級：学連の大会が実技試験の吹笛試合となります。(ブロック大会以上の記載必須=10試合)

※上級申請には、審判手帳の提出が義務づけられていますので、審判手帳への担当試合の記入(ペアレフェリーのフルネーム、左側が勝ちチーム)と、審判講習会受講記録(過去2年連続必須)と講師の押印を確実に行ってください。

## 2. 今年度実施できなかった審判講習会(HFで開催予定?)ですが、新年度の審判講習会は例年通り年度初めに実施予定です。審判員だけでなくTDを担当される方(終身)も是非ご参加願います。近年TDの任務も複雑多岐にわたっております。また、今後も埼玉県においてブロック大会、全国大会が連続して実施されることもありますので、難しい場面を想定して準備しておく必要があります。

## 3. 先に記載した審判更新ですが、日本協会への審判登録費の還付金が県協会(審判部)に配給されています。尚、2年間の還付金で今年度、審判員用インカム(3台1組)を2セット購入いたしました。審判部(審判部総務)で管理していますので必要に応じてご活用ください(審判部総務に連絡を)

最後になりますが、新年度も自分自身の判定に対する真摯な反省と改善を図ることを忘れずに審判にあたっていただくようお願いします。県全体の審判技術のアップと競技レベルのアップとは相互作用するものだと思います。皆さんで更なる埼玉県のレベルアップを目指しましょう。